

授業科目名	ジオパークと地域	担当教員	川村 教一 松原 典孝 佐野 恭平
必修の区分	選択		
単位数	2 単位		
授業の方法	講義		
開講年次	3 年 第 2 クォーター		
講義内容	2010 年に世界ジオパークネットワークに加盟した山陰海岸ジオパークには日本海形成に伴った多様な地形、地質、風土が存在する。ジオパークの活動は、それらを保護しながら地域づくりに活かそうとするものである。この講義では、フィールドワークを中心にジオパークの景観を観察し、活動の現場に接することで、地質・地形と文化・産業等との関係性や地域におけるジオパーク活動の意義を説明できることを目的とする。		
到達目標	地質・地形と文化・産業等との関係性や地域におけるジオパーク活動の役割を説明できること。 地域特性を作り出す地域の地形・地質と人々の暮らしの関係性やそれが地域社会に与える影響について分析・説明できること。		
授業計画	教室で講義をしたのち、山陰海岸ジオパーク地域でフィールドワークを行う。その後、教室でまとめと発表を行う。1 日ごとにレポートを課す。 ◆事前学習（第 1 日午後、第 2 日午前） 1. ジオパークとは何か ー各地のジオパーク、ジオパーク活動の考え方 2. 山陰海岸ジオパーク ーその特徴と活動 3. 日本海拡大とジオパーク ー火山とジオパーク 4. ワークショップ 1 ー事前自主学習、調査の仕方 ◆第 1 回フィールドワーク（第 2 日午後） 5. 玄武洞・ガイドの実際を見学 ◆第 2 回フィールドワーク（第 3 日） 6. 竹野海岸の地形・地質見学（はさかり岩・淀の洞門） 7. ジオパークでの持続可能なビジネスについての講話 8. 竹野街中散策 ◆第 3 回フィールドワーク（第 4 日） 9. 神鍋火山、溶岩流・湧水地点でのマスの養殖見学 10. ワークショップ 2 ー発表準備 ◆まとめと発表（第 5 日午前） 11. ワークショップ 3 ー発表準備 12. ワークショップ 4 ー発表と意見交換 生成系 AI の利用：利用しない		
事前・事後学習	【予習】授業に際して指示するジオパークに関する参考資料を事前に読み込み（15h）		

	【復習】講義内容の理解を深め定着させるために参考資料を読み込み (15h)
テキスト	特に指定しない
参考文献	現地でのジオパークに関する資料等
成績評価 の 基 準	<p>短期間であり、全日出席を前提とする。</p> <p>成績評価の基準</p> <p>地形・地質と人々の暮らしの関係性や、地域におけるジオパーク活動の役割を分析・説明・表現できる力を身につけた者に、単位を授与する。</p> <p>講義目的・到達目標に記載する能力（知識・技能、思考力、表現力等）の到達度に応じて S から C までの成績を与える。</p> <p>成績評価の方法</p> <p>レポート（70％）を基準として、受講態度（30％：発表および積極的な質疑応答等）を含めて総合的に評価する。</p>
履修上の注意 履修要件	授業における実習等の費用（入園料など）は学生の負担とする。
実践的教育	該当しない。
備考欄	履修者が定員を超過した場合、抽選を行う。